

山武市

(令和6年8月23日)

地方独立行政法人さんむ医療センター開院式について

お世話になっております。

標記の件について、別紙のとおり、地方独立行政法人さんむ医療センター開院式及び院内内覧を開催いたしますので、取材のほどよろしく願いいたします。

記

日時 令和6年9月1日(日) 午前10時～

場所 山武市成東250番地

備考 別紙①開院式・院内内覧及び別紙②一般向け内覧会ともに取材可です。

【この件に関するお問合せ】

地方独立行政法人さんむ医療センター

0475-82-2521 (代表)

別紙①

地方独立行政法人さんむ医療センター開院式 次第

日時 令和6年9月1日（日）10時から

場所 山武市成東250番地

- 1 開式
- 2 式辞
- 3 祝辞
- 4 感謝状贈呈
- 5 記念演奏
- 6 テープカット
- 7 閉式
- 8 その他（院内内覧・起震車による地震体験）

内覧会開催のお知らせ

新病院開院前に院内を見学できる内覧会を開催します。

予約不要でどなたでも参加できます。

9月1日(日)

13:00～16:00

イメージ画像



1F 外来ブロック受付



2F 入院病棟（個室）



2F 入院病棟（4床室）



2F スタッフステーション



SANMU
MEDICAL
CENTER

地方独立行政法人 **さんむ医療センター**

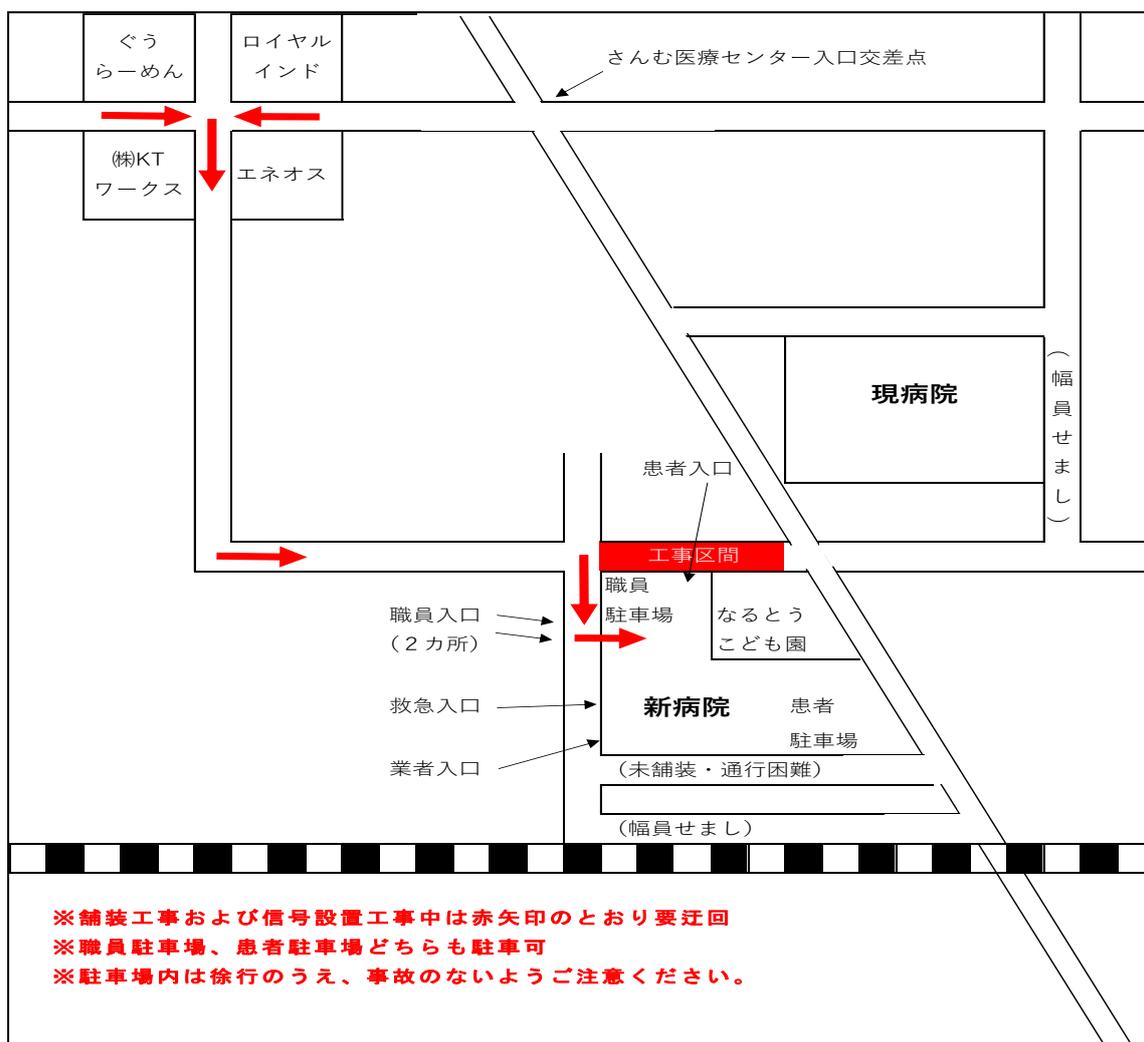
院長

内覧会にお車でお越しの方へ

新病院正面入口に隣接する道路は舗装工事のため通行できません。

下記地図のとおり迂回が必要となります。

ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



SANMU
MEDICAL
CENTER

地方独立行政法人 **さんむ医療センター**

院長

地域に必要とされる
コミュニティホスピタル

新病院のご案内



SANMU
MEDICAL
CENTER

地方独立行政法人

さんむ医療センター



理事長挨拶

さんむ医療センターの新病院は山武杉を基調としています。来院された皆様には広くて明るい空間の中で、緑を見ながら温もりをも感じて頂けるのではないかと思います。入院療養環境も患者一人当たりのスペースを十分に確保し、一人一人に窓とエアコンが整備された快適な療養環境となっております。また、災害時には皆様の安全な避難所としての設備や機能も備えております。

当院は在宅療養支援病院として、急性期医療から回復期医療・緩和医療・在宅医療（訪問診療・訪問看護）を提供してきましたが、新病院では新たに山武市成東地域包括支援センターが併設されることから、介護も含め住民の皆様さらに密着した「地域包括医療・ケア」をシームレスに提供してまいります。また、山武・長生・夷隅二次医療圏における「がん診療病院」として、がん医療・ケアを充実させてまいります。

「地域の未来を拓く」をスローガンに、住民の皆様が安心して暮らせる街を目指し、住みたい街となるように、これからも行政と一緒に街づくりに貢献してまいります。



理事長 坂本 昭雄



■病院概要

名称	地方独立行政法人さんむ医療センター
開設年月日	旧組合立国保成東病院 昭和28年6月1日 さんむ医療センター 平成22年4月1日
所在地	千葉県山武市成東250番地
電話番号	0475-82-2521
敷地面積	34,452.61 m ²
延床面積	16,914.28 m ²
構造	鉄骨造、地上4階・塔屋1階、免震構造

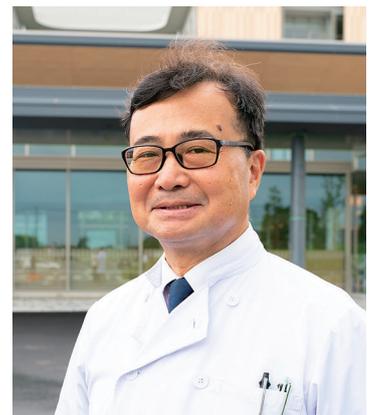
1階	6,271.28 m ²
2階	4,382.17 m ²
3階	3,246.74 m ²
4階	2,524.16 m ²
塔屋1階	103.85 m ²
付属施設	386.08 m ²

病床数	199床
診療科目	内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／ 緩和ケア内科／外科／小児科／産婦人科／整形外科／ 脳神経外科／耳鼻咽喉科／眼科／泌尿器科／皮膚科／ 小児外科／麻酔科／歯科口腔外科／リハビリテーション科／ 大腸・肛門外科／形成外科

院長挨拶

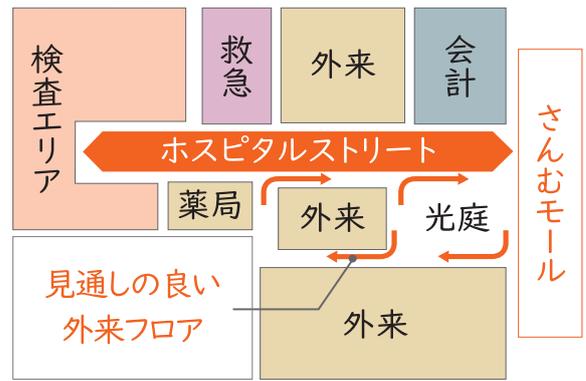
地域の皆様のご理解をいただき、令和4年9月に着工いたしました。新病院は、順調に建設工事が進み、令和6年6月に予定通り竣工し、9月24日より新病院での診療を開始することができました。地上4階建て、免震構造の堅牢でスタイリッシュな病院は、1階に外来機能を集中させ、2階に手術室、事務管理部門、医局、リハビリ庭園を含む回復期リハビリ病棟、3階に一般入院病棟、4階に緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟を配しております。広めに設計された病室は多床部屋にもベッド一つ一つに窓が配置され自然の明るさを保てるようになっています。

その他にも新病院ではご利用者の皆様に様々なアメニティを提供できる工夫がされていますが、新しい現場で働く私たちも心機一転し、地域の急性期医療～在宅医療まで幅広く提供できる体制を整備し、患者様に信頼される地域の中核病院として、真のコミュニティ・ホスピタルの実現を目指してまいります。

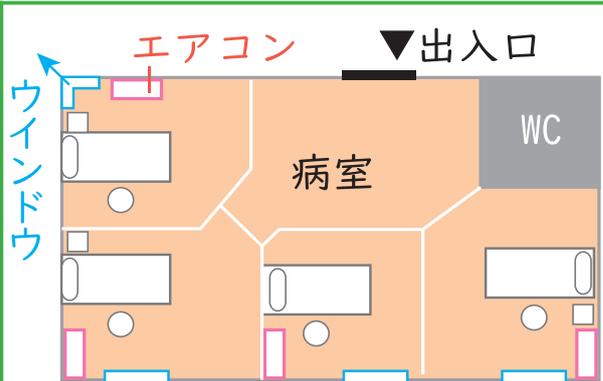
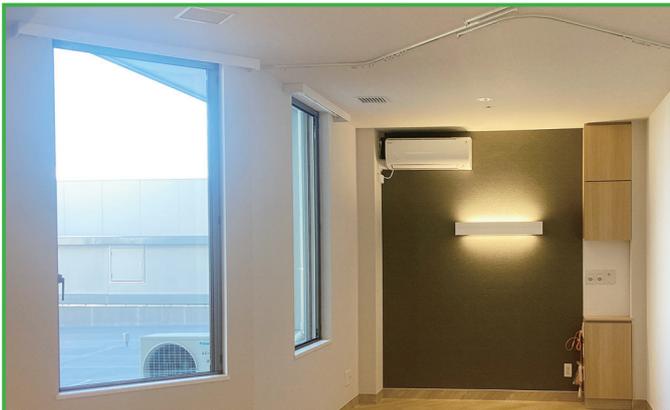


院長 篠原 靖志

みんなに優しい新病院へ



外来機能を1Fに集約した「ワンフロア外来」



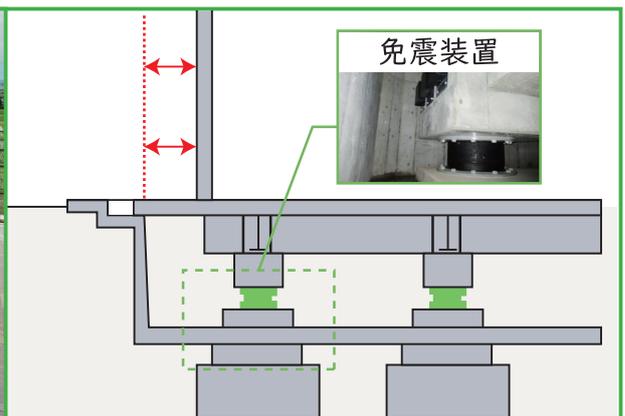
入院生活を快適にする「MY ウィンドウ・MY エアコン」



さんむモール



すべての病室が見渡せる配置



大地震に対応する免震構造



信頼される地域

さんむ医療センターの理念

患者中心の医療を行い、信頼される病院を目指します

【行動指針】

- 01 地域の子育て、健康の増進に寄与すると共に、地域特性（高齢化等）に配慮した医療を確立します。
- 02 地域の中核病院として、保健・福祉・医療を包括し、地域医療連携の推進役となります。
- 03 医学や医療技術向上の研修・研鑽に努めます。
- 04 健全経営を基本とし、経営基盤を強化します。

さんむ医療センターの基本方針

患者さんに信頼され、地域に必要とされる 真の“コミュニティホスピタル”の実現

【取組方針】

新病院が果たすべき役割として、急性期医療から在宅医療まで幅広く提供する医療機関を目指します。

- 01 地域医療機関との機能分担と連携による、急性期医療への対応
- 02 地域医療機関との連携による、二次救急医療体制の充実
- 03 地域がん診療病院としての、がん医療への取組み
- 04 こどもを産み育てやすい地域づくりに貢献する、周産期医療の充実
- 05 災害発生時の医療協力のための、災害対策体制の確立
- 06 院内感染対策の確立とパンデミック発生の際の感染症患者の受け入れ体制の確保
- 07 地域医療機関とのイコールパートナーとしての密な連携
- 08 地域包括ケアシステムを実現する、在宅医療・訪問看護サービスへの取組み
- 09 予防医療・健康増進に寄与する、かかりつけ医・家庭医機能
- 10 全人的に医療を提供する、総合診療医の育成
- 11 回復期リハビリテーション病棟設置による、リハビリテーションへの取組み
- 12 院内情報システムと地域ネットワークシステムの構築
- 13 テレビ会議システム等による、遠隔カンファレンスの実施
- 14 外部事業者への機能の委託と連携

医療を提供するために



①救急医療

二次救急（入院治療を必要とする重症者に対する救急医療）を担っています。地域住民のための二次救急医療の充実を図ってまいります。



②在宅医療

訪問診療・訪問看護から成る「地域包括医療・ケア」をシームレスに地域の皆様に提供できるようになりました。保健・福祉・医療の連携を三位一体で切れ目なく、安心して暮らせる医療環境の提供を行います。



③がん医療

当院は、千葉県がんセンター、総合病院国保旭中央病院と相互に連携し、質の高いがん医療を提供するよう取り組んでまいります。

【指定機関・学会認定等】

- ・救急告示病院
- ・地域がん診療病院
- ・協力型臨床研修病院
- ・機能強化型在宅療養支援病院・在宅緩和ケア充実病院
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門研修プログラム関連施設
- ・日本消化器外科学会専門医研修施設
- ・日本外科学会外科専門医研修施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本口腔外科学会認定准研修施設
- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医 教育医制度認定施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本内科学会専門研修プログラム連携施設
- ・日本眼科学会専門医研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・総合診療領域専門研修プログラム基幹施設
- ・日本病院総合診療医学会認定施設
- ・日本消化器病学会関連施設
- ・日本専門医機構総合診療専門医研修基幹施設

令和6年9月時点

診療科紹介



内科

地域密着型医療施設として、内科診療を充実させるため、内科の一部門として、専門領域の枠にとられない総合診療科を設置しています。健康を全人的に捉え、多角的な医療を提供します。適切な初期対応から継続診療を展開し、必要に応じて専門各科や高度医療機関に繋ぐ役割を果たし、さらには地域診療所の先生方への逆紹介を推進します。

外来診療では、専門外来として、和漢診療外来、禁煙支援外来を設置しています。入院診療では、一般病棟、回復期リハビリ病棟 地域包括ケア病棟を駆使し、スムーズに在宅医療へ導きます。訪問診療により在宅患者の後方支援機能も担う活動を展開しています。

緩和ケア内科

患者様が経験する全人的苦痛をできるだけ和らげ、楽に生きるお手伝いをいたします。また当院では、緩和ケア病棟、緩和ケア外来、訪問診療、訪問看護を一体的に動かすことにより地域のがん患者様が、どこで、誰と、いつまで、どのように療養していきたいのかを、ご希望に沿ったかたちで実現できるようにお手伝いしてまいります。

総合診療科

年齢、性別、疾患を問わず「困ったらまず相談できる場所」を目指して診療を行っています。臓器別、疾患別ではない横断的な診療を行います。体の症状の相談のみならず、禁煙や生活習慣の相談がしたい、予防接種やアレルギーの相談をしたい。心の相談がしたい、介護の不安がある。訪問診療の相談がしたい等、お気軽にご相談ください。

外科

高齢者の方々が安心して手術を受けられるように、体に負担の少ない腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。そのため、新病院では腹腔鏡専用の手術室を配備しました。また、最新の抗がん剤治療を快適に受けられるように、化学療法室を整備して頂きました。癌だけでなく、胆石やヘルニア、痔などの良性疾患に関しても、専門知識を持った医師が診療にあたりますので、お気軽にご相談ください。

大腸・肛門外科

おしりの痛み・出血・いぼなどの症状には様々な病態があります。出血の原因が肛門にあるのか大腸にあるのかの見極めを大腸肛門病専門医が行い、状況によっては大腸の検査もお勧めいたします。長く放置しないことが重要ですので、気軽に受診できるような、おしりとおつうじの外来を目指しております。

小児科

外来診療のみで入院診療は行っておらず、診療後入院が必要な方は、近隣の入院施設へご紹介いたします。午前中は一般外来、午後は予約制で乳児健診と予防接種を行っています。月に1回、神経外来・循環器外来・アレルギー外来があります。体重や身長など内分泌の病気が心配な方は随時受診できます。

産婦人科

令和6年2月より分娩の取扱いを中止しており、主に良性疾患を取り扱っています。最善の治療法を患者様にご提案できるよう心がけています。また、当院でできない治療があれば、適切な医療期間をご紹介させていただきます。

整形外科

外傷などの急性期疾患、脊椎・脊髄外科、関節外科、スポーツ整形外科、手外科、骨粗鬆症など幅広い領域を対象とし、千葉大学病院をはじめ近隣施設と連携し、各領域とも専門的な治療を行っています。高齢者の多い地域でもあり、顕微鏡や内視鏡を使用した低侵襲な手術にも力を入れています。

脳神経外科

頭部外傷、脳卒中等の脳の疾患を扱っております。疾患によっては、千葉大学病院をはじめ、近隣の脳神経外科のある病院との連携をいたしております。また検査機器も更新され、脳ドック、頭痛外来も引き続き行ってまいります。

耳鼻咽喉科

非常勤医師にて外来診療中心の医療を行なってきましたが、新病院への移転にあわせて新しく2名の常勤医師が勤務することになりました。これからは外来診療のみならず、入院診療や手術にも対応していく予定です。近隣のクリニックや総合病院とも連携し、耳、鼻、のど、頭部でお困りの方に最善の治療を提供してまいります。

眼科

地域の皆様の目の健康を守るため、医師・視能訓練士・看護師などを中心に診療に取り組んでいます。手術は白内障を中心に、1泊入院で対応しています。レーザー治療や、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞などに対する硝子体注射治療も行っています。今後も丁寧で最適な診療を行っていきます。

泌尿器科

泌尿器悪性腫瘍、尿路感染症、排尿障害、尿路結石症を中心に、泌尿器科専門医が毎日診療にあたっています。適切な診断と患者様の希望にそった治療を心がけています。また必要に応じて、千葉大学病院や旭中央病院など高次医療機関に紹介いたします。健診で異常を指摘された方、排尿の症状でお困りの方はご相談ください。



診療科紹介

皮膚科

週4日の外来診療を行っております。一般的な皮膚疾患を診療しております(湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、皮膚そう痒症、薬疹、角化症、色素異常症、単純・帯状疱疹、蜂窩織炎、疣贅、ざ瘡、白癬、カンジダ症など)。手術、生検を要する場合は、実施可能な施設へご紹介させていただいております。

小児外科

生まれてすぐの赤ちゃんから15歳以下(中学3年まで)のこどもを対象とした一般外科です。小児外科でよく扱う病気としては鼠径ヘルニア(脱腸)、臍ヘルニア(でべそ)、虫垂炎(盲腸)、腸重積、乳児痔瘻、停留精巣、陰嚢水腫、包茎などがあります。また当科では小児用の腹腔鏡機器を導入し積極的に腹腔鏡下手術を行っています。

麻酔科

患者様に安心して手術を受けていただけるよう、丁寧に説明させていただきながら安全な麻酔法の選択、麻酔管理が実現するよう日々取り組んでおります。新病院となり、手術室だけではなく麻酔機器やシステムも新しくなり、より良い麻酔管理を提供させていただけるよう努めてまいります。

和漢診療科

中高年の女性や年配の方々に優しく寄り添い、東洋医学の知恵を活かした診療を行っています。更年期障害、冷え性、慢性疲労、夜間頻尿などの症状に対し、皆さまが持つ自然治癒力を大切に考え、心と体のバランスを整えます。年齢に関係なく、漢方治療に興味がある方も、ぜひお気軽にご相談ください。

形成外科

形成とは「形づくる、作り直す」という意味で、失われた機能や外貌の修復を専門とする診療科です。生まれつき、あるいはケガや病気によって生じた変形と傷あとを目立たず、きれいにすることでQOL(生活の質)の向上を支援します。眼瞼下垂、ケガ・やけどの手当て、体表の腫瘍(ほくろ、皮膚癌など)の切除なども行います。現在は金曜日午後の外来診療ですが、今後は手術治療も行える体制を目指します。

歯科口腔外科

日本口腔外学会認定准研修施設として、おもに顎口腔領域疾患の手術(埋伏智歯、腫瘍、嚢胞、外傷、炎症等)および入院患者さまの口腔機能管理(口腔ケア)を中心とした診療を行っております。そのため、虫歯や義歯などの一般歯科診療については、お近くの歯科医院を受診されますようご協力をお願いいたします。



部門紹介

看護部

看護部の理念は、「看護を必要とする人々の思いを大切に、質の高い看護をめざします」です。日々学び、実践を通して経験を積み、地域の皆様の安心と信頼を得られるよう看護を提供します。働きやすい環境を整え、看護を充実させていきます。



薬剤課



患者様に安全で有効な薬物治療を提供するため薬学的視点に立ち、薬の専門家として職能を発揮できるように努めています。薬の適正管理・使用を推進し、適切な薬物治療を行うために医師・看護師をはじめとした多職種とのチーム医療への参加を積極的に行っています。

放射線課

新病院になり、MRI 装置と乳房撮影装置を新規導入します。

MRI は静音性が向上し、高画質で、更に検査時の受診者の皆さんの快適性も良くなります。乳房撮影装置は圧迫圧を減らす機構を備えています。放射線課はこれまで以上に受診者の皆さんに寄り添い、質の高い検査と画像の提供をしています。



検査課



検体検査部門では、中央採血室に採血管準備システムを設置し、スムーズな採血の実施ができます。生理機能検査部門では各検査室を個室化し、プライバシーの守られた検査環境を提供いたします。病理検査部門では室内の換気機能の強化が図られ、職員の健康にも配慮した造りとなっております。

リハビリテーション課

新病院では、リハビリテーション室がリニューアルし、理学療法・作業療法・言語聴覚療法がひとつの空間でできるようになりました。また、一般病棟と回復期病棟がワンフロアになることから、ひとりの患者様を急性期から回復期まで把握しやすくなり、目標に向けて継続したリハビリが提供しやすくなりました。



栄養課



入院患者様が1日でも早く回復できるよう、多職種と連携し栄養面からのサポートを行っています。また、給食部門と情報共有し、患者様にあった食事の提供をしています。このほか栄養指導では、栄養に関わる様々な病気に関して相談を行っています。

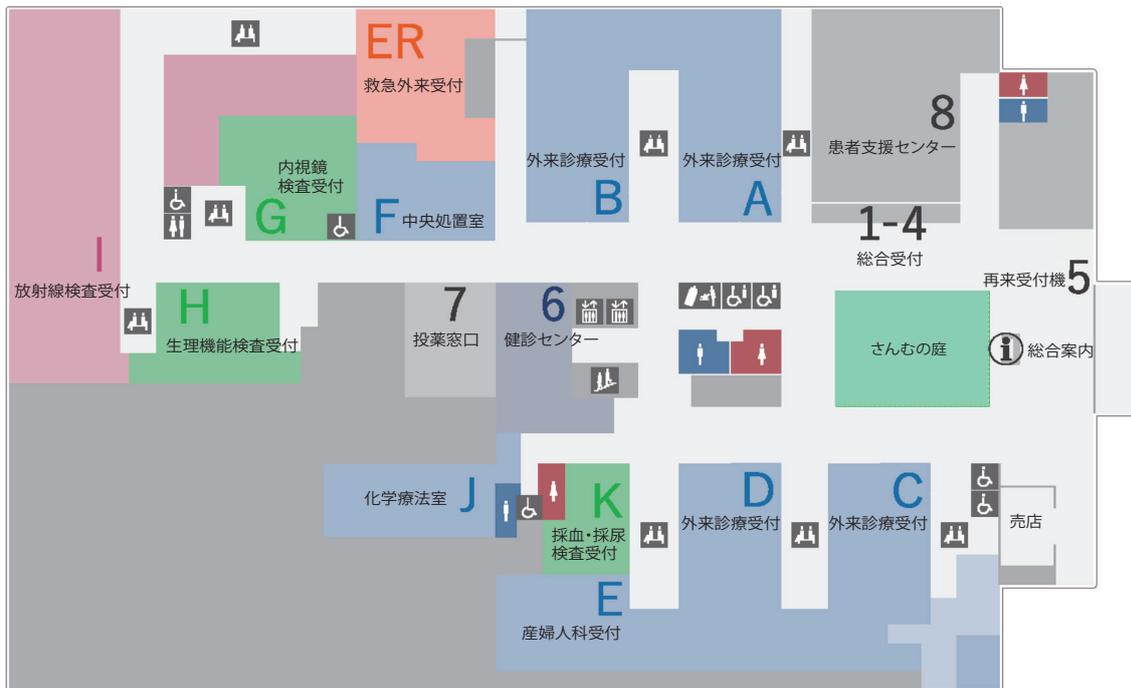
医療安全対策室

患者様が安心して医療を受けられるよう信頼性の維持・向上を目指し、安全を最優先に考え対応しています。医療安全を推進するためには、患者様やご家族の協力が不可欠です。治療処置・検査などの際は、患者様にフルネームでお名前・生年月日を名乗っていただいたり、入院中は、リストバンドを装着していただくなど患者間違い防止のため、ご協力をお願いしています。

訪問診療室

総合診療科の医師と看護師が協同し、お体が不自由で通院が難しくなった患者様のお宅に訪問し、診察、治療を行っています。一人一人の患者様と向き合い、なるべくご家族の負担を少なく、安心して自宅で療養できるようサポートすることを目指しています。

フロアガイド



1F		
① 総合案内	A 内科、整形外科、脳神経外科	F 中央処置室
1 総合受付	B 内科、小児科	G 内視鏡検査受付
2 保険確認	C 眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科	H 生理機能検査受付
3 会計	D 外科、泌尿器科、歯科口腔外科	I 放射線検査受付
4 入院受付	E 産婦人科	J 化学療法室
5 再来受付機		K 採血・採尿検査受付
6 健診センター		ER 救急外来受付
7 投薬窓口		
8 患者支援センター		

【マークの凡例】



待合



だれでもトイレ



階段



男子トイレ



女子トイレ



コインランドリー



オストメイト対応トイレ



授乳室・オムツ台



エレベーター



トイレ



機械浴室

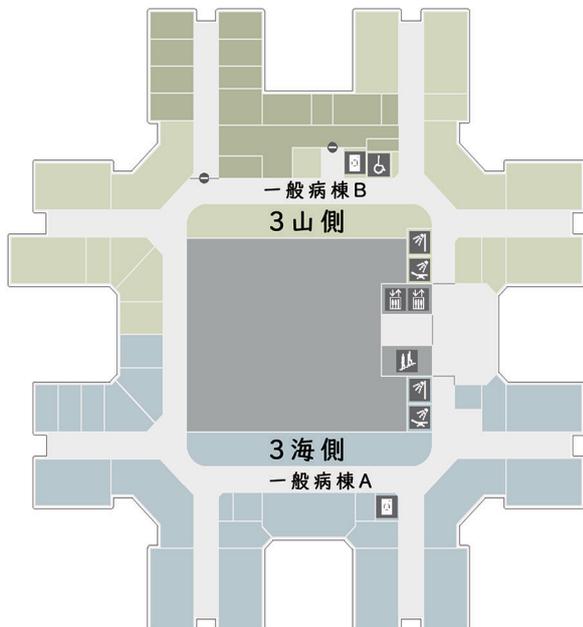


浴室



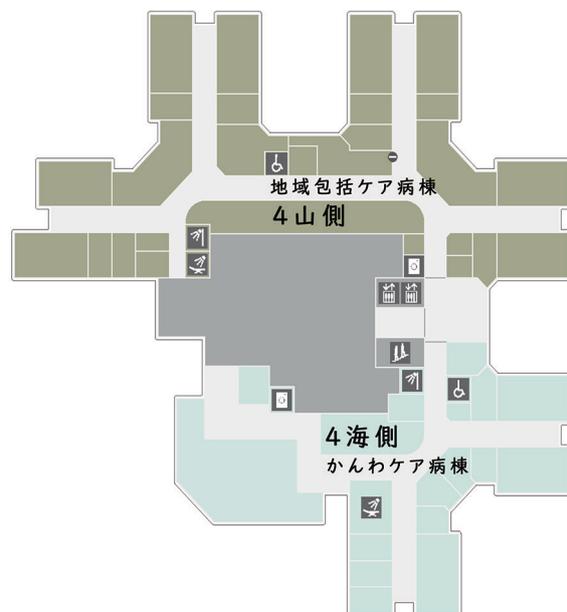
2F

回復期リハビリテーション病棟 R リハビリテーション科 O 手術室



3F

3海側 一般病棟 A 3山側 一般病棟 B



4F

4海側 かんわケア病棟 4山側 地域包括ケア病棟



地域活動紹介

世界骨粗鬆症デー inさんむ

世界骨粗鬆症デーとは、毎年10月20日に実施されている、「世界から骨粗鬆症による骨折をなくす」事を目標に、青色でのライトアップや市民講座の開催、啓発ポスターの作成等の活動が国際的に展開されている国際デーです。当院でもこの活動に賛同し、ライトアップや市民公開講座を毎年開催しております。



なるほど！糖尿病塾



生活習慣病対策委員会では山武市役所の健康支援課・高齢者支援課と協力して、糖尿病について市民の皆様知ってもらえるように毎年11月14日の世界糖尿病デーに合わせ「なるほど！糖尿病塾」を開催しております。糖尿病にまつわる旬なテーマで、それぞれの専門職から講義をしており多くの方に参加頂いております。

クリスマスコンサート

入院治療のためご自宅に帰ることのできない患者様のために平成9年から毎年クリスマスコンサートを開催しております。素敵な新喜劇をプロの方のご協力を得ながら披露しています。患者様からは大変ご好評をいただいております。大きな拍手や感謝の声を数多くいただいております。



緩和ケア【患者会～鈴の会活動】



〈鈴の会の目的〉

- 1 支え合う気持ちを大切にする。
- 2 ほかの患者さんの体験を聞くことで、悩みを解決するヒントを得たりそれを日常生活に活かせるようにする
- 3 がんの体験を話すことで気持ちの整理ができる

鈴の音は時に癒しの音、危険を知らせる音色、助けを呼ぶ音色など、音色に様々な力があります。そんな力にお互いがなれたらという意味をもってこの患者会を「鈴の会」としました。

当院の沿革

昭和 27 年 7 月	地域住民の医療の確保という使命を担って、成東町外 23 か町村立成東病院組合が設立
昭和 28 年 6 月	病床数 51 床、診療科目は、内科、外科、産婦人科の 3 科で竣工開院
昭和 44 年 1 月	施設の老朽化解消とより一層の充実をはかるため、病床数 110 床（うち結核病床 12 床）の病院建設に着手し、同年 12 月竣工と同時に診療を開始
昭和 46 年	整形外科、脳神経外科を増設し、診療科目は 10 科となった。
昭和 55 年	県の公立病院整備計画に基づき、(1) 救急医療体制の充実、(2) リハビリテーション施設の新設、(3) 地域基幹病院としての施設、設備の充実を目的として病床数 220 床となるための増改築工事に着手し、昭和 57 年 3 月竣工、昭和 60 年 7 月総合病院となった。
平成 7 年 4 月	高度専門医療に対応するため、循環器科、呼吸器科、消化器科、小児外科を増設
平成 11 年 11 月	一般病床 350 床のうち 40 床を療養病棟としてオープン
平成 12 年 4 月	歯科口腔外科を開設（診療科 18 科） 介護保険法に対応するため、地域医療部「地域医療連携室」を設置 訪問看護ステーションを設置
平成 13 年 5 月	リハビリテーション業務の充実を図るため作業療法室を新設
平成 17 年 5 月	リハビリテーション業務の充実を図るため言語療法室を新設
平成 22 年 4 月	病院組合解散にともない、「地方独立行政法人さんむ医療センター」となる。
平成 24 年 4 月	回復期リハビリテーション病棟を開設
平成 26 年 1 月	緩和ケア病棟を開設
平成 28 年 4 月	地域がん診療病院の指定を受ける。
平成 28 年 6 月	電子カルテシステムを導入
平成 28 年 12 月	地域包括ケア病棟を開設
令和 4 年 4 月	許可病床を 199 床に変更
令和 6 年 9 月	令和 6 年 6 月竣工、同年 9 月に診療科目を 1 科増設し 20 科で開院

交通アクセス

公共交通機関（電車・バス）をご利用の方

JR 総武本線「成東駅」より徒歩 20 分（タクシー約 5 分）
 JR 総武本線「千葉駅」バスターミナル「10 番乗り場」よりフラワーライナーにて約 50 分「上町（かみまち）」下車後 徒歩 12 分
 東京ミッドタウン八重洲内地下バスターミナル東京八重洲（成東車庫行き）よりシーサイドライナーにて約 75 分「上町（かみまち）」下車後 徒歩 12 分



自動車をご利用の方

千葉東金道路「山武成東 I.C」から県道 76 号・国道 126 号（I.C から約 10 分）





SANMU
MEDICAL
CENTER

地方独立行政法人

さんむ医療センター

〒289-1326 千葉県山武市成東 250 番地

電話：0475-82-2521

FAX：0475-82-3354

<https://www.sanmu-mc.jp/>

HP



2024年9月発行